

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	タクシー（経営者）	販売量の動き	・年度が替わり、会合等のイベントも増え、動きが出てくる。
	◎	その他サービス 〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・今月は墓じまいと粉骨の依頼が多い。墓じまいの業務の合間に葬儀を行うような状況である。
	○	商店街（代表者）	販売量の動き	・学生の体育衣料を中心に扱っているため、景気の良しあしにかかわらず、子供の要求する物は、親が買い与えている。急激に売上が伸びたりということはない。
	○	百貨店（店長）	来客数の動き	・近隣の大型店舗の閉店等に伴い、新規に入ったテナントが、多くの客を集めている。
	○	スーパー（経営者）	来客数の動き	・前年比では売上は24%増加、来客数は3%増加と、3年以上ぶりに来客数が増えている。この4月から病院売店への商品提供と弁当の納品が増えたため、来年4月までは売上、来客数共に増えていくとみている。近隣スーパーの閉店で、地区行事の弁当やオードブル等の注文が増えており有り難い。米については5月初めには米問屋から、6月以降は国産米がなくなり外国産になると言われたものの、1週間後には国産米の在庫は大丈夫ということになった。SNS等を活用して宣伝しており、前年比400%増加で推移している。
	○	自動車備品販売店（従業員）	来客数の動き	・来客数、客単価が共に前年実績を上回る状況が続いており、やや良くなってきている。
	○	スナック（経営者）	来客数の動き	・1～3月は、いろいろな物が急激に値上がりして、一気に景気が悪くなった感覚があったものの、現状は多少持ち直している。
	○	観光型旅館（経営者）	単価の動き	・今年のゴールデンウィークは期間が短く、5月3日から5日に集中した。それなりに単価を上げてはいたものの、近隣の有名観光地の宿泊価格がそれ以上に高騰していたため、比較的良心的な価格を出していた当館は、空室が1つ出ると即座に埋まってしまう状況であった。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・3か月前の2月と比べれば、今月は良くなっている。また、前年同月と比べても、客室単価は119%と良くなっている。今年のゴールデンウィークは5月3日から6日に予約が集中したため、客室単価を上げられたことが要因である。ゴールデンウィーク以降も、週末に開催されたコンサートイベントに合わせて客室単価を上げることができている。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・必要な物は購入するが、余分な物への購入意欲はみられない。日々の生活費も不安定な様子で、商材の動きも少なく、静かな状況が続いている。
	□	百貨店（経理担当）	お客様の様子	・前年の反動もあり、売上は前年実績をクリアできているものの、依然として厳しい消費環境にある。不安定な世界情勢と国内物価高の傾向は変わらず、消費動向にも影響を及ぼしている。
	□	スーパー（経営者）	来客数の動き	・来客数は堅調である。単価は米価高騰がけん引しての上昇である。
	□	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数はずっと前年割れしている。コンビニ業界はきつとどこでも同じ状況だが、製造業が余り良くないため、来客数が伸び悩んでいる。
	□	コンビニ（店長）	販売量の動き	・気温30度超えの日は前年5月は十分あったが、今年は余りなく、高温で売れる商材が売れず、今月は余り芳しくない。
□	家電量販店（店長）	来客数の動き	・季節商材、リフォーム商材が好調のため、前年売上を維持している。	
□	乗用車販売店（総務担当）	それ以外	・周囲の環境に大きな変化はみられない。	

□	一般レストラン (経営者)	販売量の動き	・天候は若干不安定ではあるものの、上向く時期であるにもかかわらず、良くならない。景気との因果関係は不明だが、キャッシュレス化、特に、カード決済の比率が顕著に増えており、4月は7%、5月は15%で、20%に迫る勢いである。
□	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・ゴールデンウィークの日並びが悪かったせい、前年と比べると落ちている。また、季節的に県外客が増える時期だが、例年よりも少ない。ここ数か月、人の動きが鈍く、全体的に来客数が減少傾向にある。
□	通信会社(社員)	販売量の動き	・新年度がスタートして、おおむね予算どおりの数字で推移している。新規問合せ数が前年を下回っているため、今のところは今後の大きな伸びは余り期待できない。
□	観光名所(職員)	来客数の動き	・来客数は増えているが、外国人客が大半を占めている。輸送は増えているものの、飲食や買物の伸びはなく、業績が大きく改善するような状況ではない。
□	ゴルフ場(経営者)	来客数の動き	・最近では政治的な変動要因が多すぎて、予測できない。
▲	商店街(代表者)	お客様の様子	・ゴールデンウィークの来客数は予想より良くなかった。また、毎週末の天候が悪く、来客が少なくなっている。
▲	コンビニ(経営者)	販売量の動き	・ゴールデンウィークの余波か、客単価、買上点数共に少なくなっている。
▲	コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・来客数の前年割れは継続し、物価高も続いている。米の買い控えの影響が大きく反映されている。
▲	乗用車販売店(経営者)	販売量の動き	・車両販売の低迷分をサービス部門でカバーしてきたが、今月は車検、一般整備も目標をクリアできていない。車検では最低限の金額でお願いしたいという客が多い。物価高の影響は当業界でもまだ続きそうである。
▲	その他専門店 [酒](店長)	お客様の様子	・客の様子は物価高を反映している。ゴールデンウィークは報道等にもあるとおり、皆、近場で消費していたようで売上は良かった。その後は飲食店も含めて、地方では非常に厳しい状況である。諸物価の上昇については、当店も米を扱っているが、米の売上がかなりのウエイトを占めるようになってきている。売上全般は前年より良いものの、体感的には非常に厳しくなっている。
▲	高級レストラン(経営者)	来客数の動き	・慶弔の集まりなど、家族を含んだ団体予約は堅調で、旅行者の食事予約は新型コロナウイルス感染症発生前の水準に戻っているが、平日の個人消費は低迷している。
▲	旅行代理店(副支店長)	お客様の様子	・客足が鈍い。宿泊施設等の高騰に伴う旅行代金の値上げや日並びの影響もあり、ゴールデンウィークの旅行申込みは少なかった。また、燃油高のため、安近短の旅行が多く、長期や海外旅行は減少している。
▲	タクシー運転手	販売量の動き	・この1年間にドライバーが退職し、30人いたのが5人減ってしまった。ドライバーが減った以上に客の動きが悪く、昼間はまあまあだが、夜は12時過ぎるとほとんど動かない。夜間にドライバーが頑張っても売上は増えない状態である。
▲	その他レジャー施設 [ボウリング場](経営者)	来客数の動き	・ゴールデンウィーク後半の連休は、ファミリー層、学生等の世代でにぎわいを見せていたが、反動からかそれ以降の土日の客入りは良くない。
×	スーパー(店長)	お客様の様子	・米価が上がっており、価格の安い米への集中的な購入が進んでいる。また、特売価格等への反応が強くなっている。より安い物、お買い得な物への志向が強くなっている。
×	コンビニ(経営者)	販売量の動き	・物価高で日商が上がるはずだが、ここ3か月横ばいで、客単価が低下している。物価高が財布のひもを固くしているのは明らかである。
×	乗用車販売店(経営者)	販売量の動き	・新車目的の来場が激減している。メーカーの業績不振報道が影響したのか、新規顧客への販売が皆無になっている。

	×	遊園地（職員）	来客数の動き	・人気のパンイベント等を開催したものの、天候に恵まれなかったほか、団体客が伸び悩む結果となっている。
企業 動向 関連	◎	*	*	*
(甲信越)	○	窯業・土石製品 製造業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・特注品の受注対応で多忙である。
	○	建設業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・工事の受注は増えており、仕事量は確保できている。
	□	電気機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・仕事量は変わらない程度で確保できているものの、先行きで見通せるものが少ない。
	□	電気機械器具製 造業（従業員）	受注量や販売量 の動き	・現在の受注量は若干少なくなっているが、先にはある程度の物が見越せるという期待感はある。
	□	金融業（調査担 当）	取引先の様子	・製造業では米国の関税政策の影響が懸念されたが、現状では大きな変化はみられない。非製造業は観光関連を中心に底堅く推移している。個人消費は販売価格の転嫁が進み、売上は増加しているものの、小売業などからは買い控えの声も大きくなっている。
	□	金融業（経営企 画担当）	取引先の様子	・外国人観光客を中心に、観光業は旺盛な状況が継続しているが、観光業以外の小売関係への消費は活況だとはいえない。
	▲	食料品製造業 （製造担当）	受注量や販売量 の動き	・製品を値上げしたため、売上点数が落ち込んできている。大手ではいまだ値上げをしていないため、差が開くばかりである。
	▲	食料品製造業 （営業統括）	受注量や販売量 の動き	・国産ワインの余剰が非常に多く、問屋からの引き合いが弱まっている。
	▲	その他製造業 〔宝石・貴金 属〕（経営者）	受注量や販売量 の動き	・関西で国際宝飾展が開かれた。来場者は多いものの購入意欲は乏しく、売上は前年より大きく減少している。
	×	*	*	*
雇用 関連	◎	—	—	—
(甲信越)	○	—	—	—
	□	人材派遣会社 （営業担当）	求職者数の動き	・時給アップが異常で応募代行企業も多く、どこに登録したかも覚えていない求職者もいるため、マッチングがうまく進んでいない。元々、人口減少に伴い就労者が少なくなっているため、以前と異なる現象は続く。
	□	職業安定所（職 員）	求人数の動き	・3か月前との比較では、求人数、求職者数共に大きな変動はみられないものの、前年同期比で見ると僅かではあるが、減少傾向にある。
	□	民間職業紹介機 関（経営者）	求人数の動き	・求人进行引する製造業において、現場作業者の求人はあるものの、開発系の求人は目立たなくなっている。
	▲	職業安定所（職 員）	求人数の動き	・当所管内の4月の有効求人倍率は1.20倍となり、前年同月比で0.13ポイントの低下となっている。月間有効求人数は12か月連続で減少となっている。
	▲	職業安定所（職 員）	求職者数の動き	・人口減少で求職者自体は減少傾向を示すものの、求職者の申込み理由をみると、物価高騰で生計費を確保したいという高齢者層の動きもみられる。
	×	—	—	—